



全国小学校キャリア教育研究協議会通信 vol.11
キャリア教育を通じた「つながり」から子どもと社会を結ぶ
発行/編集：全国小学校キャリア教育研究協議会 2018.12.20

【1】ご挨拶

12月も下旬にはいり、学校ではもう少しで冬休みとなります。12月6日、7日に行いました第1回全国小学校キャリア教育研究協議会・第4回全国キャリア教育研究 京都大会の開催にあたり、多くの方にご協力いただきましたこと、また、全国各地からご参加いただきましたことに厚く御礼申し上げます。本来でしたらもっと早くにお礼とご報告をさせていただかなくてはならなかったのですが、大会に向けて、後回しにしていた本来の校務や様々な仕事に追いかけて、大変遅くなってしまったことお詫びいたします。とはいえ、大会開催にあたっては、お越しいただいたご来賓の方々、大会に参加いただいた皆様、御講演いただいた長田徹調査官様、探究館の皆様、会場校として授業公開してくださった岩倉北小学校の教職員の皆様、分科会の発表、司会、指導助言をいただいた先生方、シンポジウムでご発表いただいた皆様、受付業務・運営をしていただいた新京阪観光案内所の皆さん、そして、本大会を支えてくれた研究会員のみんな、お世話になったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、研究会員一同皆様をしっかりとおもてなしして、大会運営に不備がないように心がけてはいたのですが、様々なご不自由、不行き届きな点多々あり、ご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

【2】京都大会ご報告 その1 京都まなびの街生き方探究館

京都大会の会場は、1日目京都まなびの街生き方探究館。2日目京都市立岩倉北小学校で行いました。1日目は、京都市のキャリア教育の殿堂「京都まなびの街生き方探究館」で京都市の行っているキャリア教育のプログラムの紹介を説明と見学で行いました。以前大会に参加されたことのある方から、「この施設が素晴らしいので是非見に行けばいいと言われて参加しました」とおっしゃっている方もおられました。

◎1階・地下 京都モノづくりの殿堂・工房学習（主に4年生）

京都と言えば伝統産業をすぐに思い浮かべますが、それだけではないモノづくりに関連する多くの先端技術の会社があります。その企業創業者や科学者の歩み、技術製品等を紹介したり、簡単な工作・実験でその原理を学んだりする学習も行われています。

◎2階 スチューデントシティ学習（主に5年生）

銀行、商店、新聞社、区役所など、13ブースからなる「街」の中で児童が一人の大人として社員・職員と消費者の両方の立場を体験する施設です。

◎3階 ファイナンスパーク学習（主に中学1年生）

不動産、衣服、食品、趣味娯楽などの17ブース、19業種からなる「街」で、生徒が税金や保険、住宅、光熱水費など、生活に必要な費用の試算等を行い、生活設計を体験します。

これらの説明、見学の後、大津市立和邇小学校の蒲原先生より自校の取組を語っていただき、この発表をもとに、参会者がこの大会に参加されるきっかけやご自分の取組、キャリア教育に対する思いなどを自由に交流する時間を設けました。どのグループも、すぐに打ち解けられて熱心に交流されていました。翌日出会うのが楽しみになるような「つながり」のできた時間でした。

【3】京都大会ご報告 その2 ポスター発表

今回の京都大会には直接ご発表、ご参加いただけない方や学校にも参加いただこうということで、ポスター発表のコーナーを岩倉北小学校の全体会会場に設けました。一昨年度行った第3回大会では、京都市でキャリア教育に取り組む学校の情報を模造紙に拡大して掲示したところ、参会者の方が大変熱心にご覧になっていただいたことがきっかけでした。今回は、京都市だけではなく、いくつかの学校から情報をお寄せいただきました。ぜひその学校のホームページをのぞいてみてください。

ポスター発表校

- 北海道別海町立野付中学校
「野付学区 幼小中一貫 ふるさとキャリア教育『野付学』全体計画」
- 大阪府堺市立大泉学園
「小中一貫 9年間を見通した教育ビジョン」
- 東京都世田谷区立尾山台小学校
「学年ごとキャリア教育年間計画表」
- 滋賀県大津市立和邇小学校
「総合学習、特別活動、道徳の関連を持たせたキャリア教育～ 地域とつながり、地域から学ぶ～」
- 京都市立九条弘道小学校
「ふれあいタウン 36横丁」
- 京都市立新町小学校
「あらゆる教科・領域の中で育む資質・能力」

- ・京都市立静原小学校

「よりよい生き方を実現しようとする子どもの育成 自覚的実行力の育成」

【4】京都大会ご報告 その3 大会参加者交流夕食会

「語り合おうキャリア教育，つながろう全国の仲間と」

於 京都ガーデンパレスホテル

1日目のプログラム終了後に大会レセプションを行いました。個人でご参加されていてお申込みいただいた方やシンポジスト、課題別分科会関係者、大会顧問、役員研究会員などが集まり、新たな「つながり」にとっても楽しい時間を過ごしました。

京都市の研究会副会長の中村校長の名司会のもと、テーブルごとでの出会いや歓談、参加者の地域別自己紹介や本研究会の顧問でシンポジウムコーディネーターの初田幸隆先生（京都教育大学教授）のミニキャリア教育講座などが個気味よく行われ、時間があっという間に過ぎていきました。もっと話していたい、また、明日出会うのが楽しみになる交流会でした。

【5】京都大会での出会いをもとに 伊那市教育委員会より

本大会には教員だけでなく、行政の立場で教育を支えていただいている方や、民間の立場で子どもや保護者に関わっていただいている方もご参加いただいていた。その多くのお会いの中から、伊那市の教育委員会からお越しになった参加者の方より、貴重な情報をいただきました。以下いただいたメールより暖冬のこの冬ですが、伊那市の平地でもようやく雪が降った今週です。標高が約600m～約3000mまで（南アルプス）ある伊那市です。もちろん両アルプス（中央・南）の山頂は真っ白です。

伊那市のキャリア教育の関係ページ

http://www.inacity.jp/kosodate_kyoiku/gakkokyoiku/shokubataiken/index.html

伊那市中学生キャリアフェス関係のページ

http://www.inacity.jp/kosodate_kyoiku/gakkokyoiku/shokubataiken/inashicareerfes/careerfes_ni_tsuite.html

<https://www.facebook.com/careerfes.ina/>

伊那市のみならず、広域連合で取り組んでいるキャリア教育の団体

「郷土愛プロジェクト」のページ

<http://inadani-kyodoai.jp/>

わたしは直接お話しし、素敵なパンフレットをいただき、そのお取組をご紹介いただきました。地域ぐるみ、市ぐるみで行われている興味深い取組で、すでにある企業もブラッシュアップを目指すような企画力も感じました。ぜひ訪れてみたいです。

【6】京都大会ご報告 その4 第1日目の感想より

第1日目のプログラム終了後いただいた参会者の方からのご感想を紹介します。

- キャリア教育を推進する上で、社会の成り立ちを知ることはとても重要だと思います。納税者としての意識、社会を支える市民としての視点を盛り込んでいる点がとてもよいと思いました。
- 施設運営の方針が明確で、子どもに具体的な資質を身につけさせていることがよくわかる設備であった。すばらしい。10年間の蓄積も感じられた。単なる職業体験の場としていないところも実感できた。
- 産学公が見事に連携された、とてもダイナミックな試みであると驚きました。京都市のものづくりについて、誇りを持った企業・団体が我こそはと動ける京都市のパワーを、素晴らしさを感じました。
- まず企業の協力体制の素晴らしさに感動しました。浜松市もものづくりの街ということで、浜松科学館等で多くの企業が展示ブースを出していただいています。京都のように計画的組織的に行っているのはとても参考になりました。
- 京都市独自の施設として開設され、市内小・中学校の児童・生徒がほぼ全員体験されているということで、子どもたちにとって非常に有意義な環境であると期間感じました。自分の経験では、キャリア教育については、職場体験学習や専門の方からの職業講和等がありますが、探究館では、非常に多種の業種にわたり、児童・生徒が興味・関心をもとに体験できることがすばらしいと感じました。授業を構築する際にも、探究的な学習が展開できそうで様々な分野に広がりを持たせることも可能だと思われま
- 企業と連携し、主旨を理解し合い、システムがしっかりしているので、素晴らしい取組だと感じました。ボランティアの方へも子どもたちを「大人」として扱うことが徹底されており、意義や、ねらいが道からそれず子どもに入っていると感じました。生き方探究教育を育てたい4つの力に分けているのでどこで何ができて、何を学ぶのかが子どもにも、保護者にも、ボランティアの方にもわかりやすいと思いました。統合されてなくなった中学校がみごとに生まれ変わっていると感じました。

【7】実践発表募集

今大会では、分科会発表、シンポジウム発表を通して、日本の様々な地域の実践をお伝えすることができました。現在キャリア教育に取り組んでおられる方、来年からやってみようと思っておられる方、様々な取組をぜひ発表してみてください。来年度行う東京大会のプログラムはまだ決まっていますが、発表したい、この情報メールで紹介しても良い等、ぜひおたよりをお寄せください。皆様の御意見や実践等をご紹介させていただきます。全国大会を通したつながりが、各地域の子どもたちの成長、

学びに少しでも役立つことを願っています。

【8】御協力お願い

このメールでは研究大会の案内や実践校紹介を掲載しています。今後も、キャリア教育に取り組んでおられる学校の紹介やお寄せいただいた記事の掲載等を行っていきたいと思っています。どしどし情報をお寄せください。また、こちらからもご依頼させていただくこともあると思いますので、お忙しいとは思いますが、ご協力お願いします。

【9】編集後記

通信11号では、主に、京都大会1日目の様子をお知らせしました。12号で、大会2日目の様子や、ご参加いただいた方からの感想を紹介しようと思っています。大会参加者の方の熱心さを語るエピソードの一つとして、大会会場で書籍を販売されていた方が、予想以上に買っていただいて、関心の高さを実感したとおっしゃっていました。今年は暖冬とはいえ、寒さ厳しい毎日。北の地域からは大雪の様子も届いています。インフルエンザや感染性胃腸炎等が流行する季節でもあります。みなさま、くれぐれも体調を崩されませんように。素敵な年末、年始になることを願っています。お読みいただきありがとうございました。

発行：全国小学校キャリア教育研究協議会

編集：林 久徳（全国小学校キャリア教育研究協議会

京都市小学校生き方探究・キャリア教育研究会会長）

研究会URL：<https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

会長校：京都市立静原小学校

住所：〒601-1121 京都市左京区静市静原町1125-1

連絡先：TEL:075-741-2075 FAX:075-741-2094

事務局：京都市立岩倉北小学校

住所：〒606-0021 京都市左京区岩倉忠在地町5

連絡先：TEL.075-721-5618

事務局長：三浦清孝